



季節感

春に比べ夏は白い花を咲かせる木々が少ないが、その白い花が夏の山裾に点在している…昔は和紙作りの紙漉きの際、糊の役割を この木が担っていたとか…

『ノリウツギ』

平成27年9月1日
福岡早良区椎原林道

大塚俊樹

◆お知らせとお願い◆

環境フェスティバルふくおか2015にナイス福岡も参加します

会員の皆様の参加協力をお願いします。

日時 2015年10月17(土)、18(日)

10時～16時

場所 福岡市中央区の市役所西側ふれあい広場

※ナイス福岡の展示場所は、会場の自然保護ゾーンの<20番>です。

今回も「自然と遊ぼう 自然に学ぼう」という掛け声と共に、木の実や草の実などを用いて、自然の中での遊びや楽しさを伝えたいとの思いで、参加します。会員の皆様、2日間の中で、半日でも1日も参加できる方は、事務局田村(090-8220-6160)まで連絡をください。ほんの少し覗くだけでも構いません。また、当日参加はできないが、ドングリやオナモミ、あるいは引っ付き虫と言われる草の実などを集めて提供していただくことも歓迎します。

★都市公園で自然観察会 52★

春日公園で、いろいろな視点で植物や昆虫、野鳥などをゆっくりと観察します。

★日時 9月20日(日)

集合14時～解散16時

★場所 春日公園・自然かんさつ館〔旧公園管理センター〕

会員200円、一般300円です。協力をお願いします。

【連絡先】 担当：田村 耕作

TEL 092-400-1765〔FAX兼用〕

Email kurabird-.tamura@nifty.com

日本野鳥の会 福岡支部 主催

※一般参加費：300円（中学生以下無料）

9/20（日）10/18（日）
 天拝山探鳥会（筑紫野市）
 時間：9:00～12:00
 集合：天拝山歴史自然公園
 問合せ：090-7165-5026（重松尚紀）

9/27（日）10/25（日）
 久末ダム探鳥会（福津市）
 時間：9:00～12:00
 集合：久末ダム多目的広場横
 駐車場（管理事務所下）
 問合せ：0940-33-7846（高原和幸）

10/4（日）
 今津探鳥会（福岡市西区）
 時間：9:00～12:00
 集合：玄洋高校西側道路
 問合せ：092-891-9005（神園道男）

10/10（土）
 大濠公園探鳥会（福岡市中央区）
 時間：9:00～12:00
 集合：ポート乗り場前
 092-573-1827（森健児）

10/11（日）
 和白海岸探鳥会（福岡市東区）
 時間：9:00～12:00
 集合：JR 和白駅前の公園
 問合せ：092-606-0012（山本廣子）

10/6（火）
 県営春日公園（春日市）
 時間：10:00～12:00
 集合：旧公園管理センター前
 問合せ：092-592-3423（小野仁）

日本野鳥の会 筑後支部 主催

※一般参加費：100円（中学生以下無料）

9/27（日）
 濃施山公園（みやま町）
 時間：9:00～12:00
 集合：公園内すいせん橋
 090-7446-9047（野田達行）



コムシジ幼虫 三国・松永

三国丘陵の自然を楽しむ会 主催<http://mikunikyuryo.blog107.fc2.com/>

10/3（第1土曜日）
 自然観察会（植物・昆虫・野鳥など）
 集合：九州歴史資料館2階研修室
 時間：9:15（受付）～12:30
 問合せ：092-920-3072（松永紀代子）
 参加費：無料

北筑後保健福祉環境事務所との合同観察会
 （三沢ピオトープロジェクト）
 会員以外の方は、上事務所地域環境課
 0942-30-1052 にお申込ください。

**久留米の自然を守る会 主催**

第422回例会 9/18（金）
 筑後川観月会 雨天決行
 月面観察と周辺の天体と星座を観察します。
 天体観測と星座の指導は吉田哲磨先生です。
 お月さまの昔話が二つあります。
 集合：筑後川防災施設くるめウス
 時間：19:00～21:00
 要申込：TEL 0942-51-7064（古賀信夫）
 FAX 0942-51-7065
 問合せ：hashida@kurumenoshizen.net
 （橋田沙弓）



台風の爪あと 倒れたハリエンジュ 三国・松永

和白干潟を守る会 主催

9/26（土）
 守る会定例会議
 時間：10:30～13:00
 集合：和白干潟を守る会事務所
 問合せ：092-606-0012（山本廣子）

9/26（土）
 クリーン作戦 と自然観察会
 時間：15:00～17:00
 集合：海の広場 駐車場なし
 長靴・軍手があると便利
 問合せ：090-1346-0460（田辺スミ子）

福岡植物友の会 主催

9/20（日）
 内佳峡（飯塚市）
 参加有料、予約必要
 問合せ：092-575-3131（北野星二）

窓越しの自然観察 ⑤

セミの声ばかりが、けたたましく、暑さをいや増してくれる夏でした。

急に秋の涼しさが訪れて、油断出来ません。

毎年、必ず簾の竹に土を運んで巣を構える蜂がいます。ピンボケで判り難いのですが、穴蜂の仲間ではないかとおもいます。隙間なく土でふさいだ入口に時々



やって来て、穴を開け、中に入って何をしているのか、なかなか出てきません。先日は、袋状のものをくわえ出して、飛んで行きました。後は、またきれいに埋めてしまいます。今日は、頭の上からたっぷりの粉土が降って来て、気付けば、玄関入口の梁に、今年は沢山の穴!!!
なんとかしなければ、その内、梁が降ってきそう!!

時々、見かけるナナフシ。これは、足が一本欠けていますが、部屋から追い出そうと、一掃きにご覧のように瞬時に見事な変身ぶり。

待てど、くらせど?この姿で、気短の自分は、小枝姿のまま掃き出してしまいました。



2015年08月 私のデジカメラ日誌より 本のむし

(ダムサイトの住人 2015/8/31 記)



8月9日 自宅付近で今年巣立ったモズの幼鳥です。丁度今、幼毛を換羽中でもうしばらくすれば、成鳥と同じような若鳥です。(本のむし)



8月30日 庭で見かけたウラナミジャノメです。家にはススキも植えているので、うまくいけば繁殖を期待したいところです。(本のむし)

くすのき 2015年9月号投稿原稿-本のむし

Nais-fukuoka 福岡県自然観察指導員連絡協議会

「九州大学のセミナーに参加しました」

九州大学の伊都キャンパスで7月20日に開かれた「外来種や危険生物とどう向き合うか?～伊都キャンパスに潜む外来種や危険生物～」という参加自由のセミナーに参加しました。

講演内容は、以下の5項目でした。

- ◆日本の外来種問題の実情
荒谷 邦雄 (九州大学大学院・地球社会統合科学府・教授)
- ◆日本固有種ニホンシガメの危機 - 外来生物アライグマやミドリガメによる被害
鈴木 大 (九州大学・持続可能な社会のための決断科学センター・助教)
- ◆セアカゴケグモの発見とその対応策
小野 展嗣 (国立科学博物館・動物研究部/地球社会統合科学府・客員教授)
- ◆病気を媒介する吸血鬼 - マダニ
山内 健生 (兵庫県立大学・准教授/兵庫県立人と自然の博物館・主任研究員)
- ◆特定外来生物ツマアカスズメバチについて
上野 高敏 (九州大学・農学研究員・准教授)



このセミナーを受講して、驚いた事と納得した事がありました。

驚いた事の1つは、セアカゴケグモが伊都キャンパスに生息しているという事です。その名前が耳に入るようになって久しいセアカゴケグモですが、私は、一部の場所でのみ繁殖していると思っていました。ですが、伊都キャンパス内にも普通に生息しているようで、当日に発見して駆除された1匹のセアカゴケグモを見せて頂きました。人の手が入るなどして、大きく攪乱された環境では、こういった外来生物が入り込みやすくなるそうです。少し遠い存在に感じていたセアカゴケグモですが、とても身近な存在でした。セアカゴケグモが気付かれ難い理由の一つとして、子グモの時は、見た目ではセアカゴケグモだと識別するのが難しいことが挙げられていました。

驚いた事のもう1つは、アライグマが日本固有種であるニホンシガメの危機に直接関係している可能性が高いという事です。千葉県のある河川(名前を忘れてしまいました・・・)で四肢や尾が千切られた状態のカメの死骸が幾つも見つかかり、原因を何者かによる捕食によるものと推定。自動撮影装置で河川を利用する動物の撮影を試みたところ、カメが利用する浅瀬で確認されたのはアライグマのみで、他のイタチ、タヌキ、テン、ノウサギ、ネコ、ハクビシンは川の土手を歩行していたそうです。実際にカメを捕食する姿はまだ確認されていないようですが、可能性はかなり高いようです。カメは冬季に川の浅瀬で冬眠するようで、アライグマにとって格好の餌となっているかもしれません。

カメの中でもなぜ、ニホンシガメの危機かと言うと、一般的に確認できるカメの仲間のうち、一番繁殖力が強いのが外来生物であるアカミミガメ、次いでクサガメ、そして一番弱いのがニホンシガメだからだそうです。

納得した事は、最近問題にされているツマアカスズメバチが日本の在来種に影響を与えうると言う事です。

外来種が移入されたとして、その種が在来種や人に悪影響を与えるのか?と言う事は、なかなか解り難い事だと思います。

先にあげたセアカゴケグモのように、有毒種であれば、問題である事は間違いないと思うのですが。

今回、「特定外来生物ツマアカスズメバチについて」という講演の中で、上野高敏准教授が対馬に侵入したツマアカスズメバチについて調査された結果から、他の生物に対する圧力が高い事を説明して下さいました。

調査の結果

- ・土着のスズメバチよりも狩りが巧く、動体視力が良く俊敏である。
- ・対馬では、1年間で4倍に数が増加。分散のスピードが速いことが知られており、ヨーロッパでは、単純計算すると1年間で100キロメートルのスピードで拡散したとの報告もある。
→土着のスズメバチにも、餌となるニホンミツバチにも影響あり。

ツマアカスズメバチはミツバチを好んで捕食し、対馬にはニホンミツバチしかいない為、ニホンミツバチが獲物になります。対馬ではニホンミツバチを利用した養蜂が盛んで、養蜂場に訪れたツマアカスズメバチ等をひたすら観察されたそうです。調査の結果、ニホンミツバチの捕獲に要した時間は、キイロスズメバチが平均12分のところツマアカスズメバチは平均3分でキイロスズメバチの1/3だそうです。ツマアカスズメバチは羽ばたきの回数が多く、ホバリング(空中での停止飛行)ができるため、羽音は他のスズメバチよりも高く聞こえるそうです。

そして、養蜂場に訪れたツマアカスズメバチをカウントすると、1年間で4倍に数が増加したようで、繁殖力が強い事が伺えます。人への脅威としては、毒性はキイロスズメバチと同程度で、攻撃的な種で、巣を刺激した場合は執拗に追いかけてくるらしく、他の

スズメバチ同様注意が必要との事。ただ、ツマアカスズメバチは、初め茂みや土中の閉鎖的な環境に巣を設けるが、巣の拡大のため、樹上の比較的高い場所に引越す習性があるらしく、働き蜂が増える時期の営巣場所が容易に近づけない所（木の高い場所など）であり、少なくとも、木の上に作られた（引越し後に作られた）巣に関しては、木の真下に行っても蜂から警告を受けることは全くなかったそうです。

また、ツマアカスズメバチによる伝統的養蜂巣への影響については、今後明らかにしていく必要があると話されていました。今回のように、研究した成果を公表して頂くことで、なぜ外来生物が問題なのかを知る良い機会となりました。もっと一般的に知る機会が増えれば、外来生物に対する意識も高まるのではと思います。

春日市在住 ねこ

ふくおか生きもの見つけ隊の自然観察会、簡単な報告です。

8月11日、福岡県の環境課主催の「生きもの見つけ隊」観察会を、九州歴史資料館にて行いました。12組29名の参加者を2グループに分けて、資料館周り、桜のトンネル付近を、福岡県の研究員の方1名と他に県の3名のスタッフにお手伝いいただき、観察しました。講師の得意分野も違い、馴染みのフィールドであるのは私のみということで、途中で講師を交代するというご配慮をいただきました。

調査対象種があることに戸惑いもありましたが、種名は観察のはじまりと割り切りました。調査対象種である場合にはその旨を伝えましたが、環境と植物、植物と密接な関係のある昆虫の生態、外来と在来、生きもの生と死などを絡めて観察を行いました。危険な生きもの説明はしていましたが、樹液を見つけたお子さんが突然幹に向かって走り出した時は「冷り」としましたが、スズメバチはおらず、やれやれでした。

参加者の皆様、関係者の皆様、暑い中、お疲れ様でした。報告：松永 紀代子



☆報告☆ 春日公園自然かんさつ会 2015年8月16日 (第51回)

天気予報とお盆、参加した会員 3名でした。発見がありました。

- ・ いくつものクヌギの枝が何物かに切り落とされていた。落ちていた枝は切り口が同じで、葉が数枚と団栗が1~2個ついていた。後で調べたところ、どうもハイイロチョッキリという虫の仕業らしい。どうも繁殖のためらしい。
- ・ あるアメリカフウの根元にセミ穴がたくさん、60余り数えた。地面の中、セミの育ちやすい環境かも。
- ・ 今日見かけたセミは、アブラゼミ・クマゼミ・ツクツクボウシでした。
- ・ 落ちていた枯枝にセミの産卵痕を見かけた。

報告 田字草



何物かに切り落とされていた



吸水中のアブラゼミ



枯枝にセミの産卵痕



◆◆◆事務局からのお知らせ◆◆◆

インターネット掲示板に会員の皆様の書き込みをお願いします。

ナイス福岡のアドレスはこのページの一番下に表示しています。



会費振込について

それぞれの会員の皆様の会員期限をタックシール部分に明記してあります。各自ご確認の上、郵便局にて下記の郵便振替口座に振り込みをお願いいたします。なお、会計年度は6月から翌年5月末までです。

年会費:2000円

郵便振替口座:福岡県自然観察指導員連絡協議会 01760-9-15783



皆に知らせたいことはありませんか？

皆さんが行っている観察会やイベントの案内、自然保護に関する情報やご意見、お薦めの本の紹介などをお寄せ下さい。原稿は定例会の一週間前までに事務局にお送り頂くとその月の会報に載せることができます。

皆さん情報をお待ちしています。



定例会に参加してみませんか？

本会の運営に関する打ち合わせや情報交換、会報の発送作業を原則として毎月第2金曜の18:00~20:00ごろまで自然案内舎(有)クラブ内にて行っています。

会員の方はどなたでも参加できるのでお気軽にお立ち寄り下さい。皆さんのおこしを心よりお待ちしております！

次回の定例会は、平成27年10月9日(金)午後6時より事務局で行います。2015年10月号の原稿は、2015年10/5(月)までに届くようにお願いします。なお、原稿を掲載するに当たっては編集担当にお任せ願います。

※お願い 会報をホームページで見る環境をお持ちの会員は手をあげて下さい。経費節減のためです。

宜しく願います。



他団体の会報の紹介

・日本野鳥の会筑後支部 会報まめわり 第172号 15.09.01

「鳥信で募集する野鳥たち」ゴイサギの生態などを掲載

・福岡植物友の会 会報 平成27年9月号 第56巻

第678回例会「菊池溪谷」報告などを掲載



参加費・寄付金の報告 8/16の参加費600円



第508回 NACS-J 自然観察指導員講習会・熊本県のお誘い

主催：(公財)日本自然保護協会・自然観察指導員熊本県連絡会・ネイチャー佐賀

会場：国立阿蘇青少年交流の家(阿蘇市)

開催日：2015年11/14(土)~11/15(日) 1泊2日

費用：24,000円 申し込み期間：9/28(月)~10/19(月)

問い合わせ先：(公財)日本自然保護協会 電話03-3553-4105

会員の皆さん、まわりの方に、講習会への参加をお勧めしてみてください。



お問合せ： 福岡県自然観察指導員連絡協議会
 (NAIS Fukuoka : The Nature Interpreter Society of Fukuoka)
 代表：田村耕作/事務局長：小野 仁/
 編集：田村耕作・山本勝・松永紀代子・吉田素子/会計：宮原俊彦
 〒814-0144 福岡市城南区梅林2丁目10番23号
 ハイツ中村401
 自然案内舎(有)クラブ内 TEL & FAX : 092-400-1765
 URL : <http://www.kurabird.com/>
 掲示板 URL: <http://bbs9.fc2.com/php/e.php/~naisfukuoka/>

編集後記 2015年8月の定例発送会は、山本弘子・永松愛子・大塚俊樹・藤川渡・田村耕作が参加。欠席の連絡無し。まともに通過した台風、よく降る雨、あちこちで発生する竜巻、夏の暑さが消えたか隠れた9月はじめ、なかなか予想しがたい天変地異が続いている。腰を据えてしっかりと自然の移り変わりを、眼を見開き、自分の五感と第6感で、感じとりたいですね。ハチクマの渡りの観察を開始していますがその成果がどうなるのか？いつもと変わらなにか、あるいは何か異変が出現するか、どうなのでしょう。田字草

